

# 東北お遍路(こころのみち) 巡礼地第2次選定

巡礼地を巡るための詳細な地図やナビゲーション、語り継ぐ物語は、東北お遍路(こころのみち)の公式ウェブサイト内にある「こころのみちるべ」をご覧ください。

なお、「こころのみちるべ」では、スマートフォンを利用して、皆さまが巡礼地を巡った「足跡」を残すことができます。

公式ウェブサイトは [東北お遍路](#) で検索できます。

## 1 青森県

**15 燕嶋神社**  
ウミネコ繁殖地としても有名。津波に島一帯が飲み込まれたが、神社の鳥居まで。ガレキの山から観光地へと再出発を果たした。  
八戸市町立学校 56  
TEL 0178-34-2730

**12 大蛇小学校の2つの津波の碑**  
昭和の津波以来、「1から逃げる。津波の時は線路まで」と地域でいならわされ、一人の犠牲者も出さなかったと碑文に刻まれた。  
陸上町道仏字大蛇 30-1

## 2 岩手県

**21 津波慰霊碑**  
八木地区に明治と昭和8年の大津波の慰霊碑がある。毎年行われている慰霊祭と防災訓練のお陰で犠牲者はゼロだった。  
九戸郡洋野町  
TEL 0194-65-5916 (観光協会)

**22 ケルン・鎮魂の鐘と光**  
震災の教訓を後世に伝えるモニュメントを作ると、市民らの募金でできた。高さは久慈を襲った津波高を参考に海抜14.5m。  
久慈市長内町諏訪下JC公園内  
TEL 0194-52-2111 (久慈市観光交流課)

**23 大鳥居と楓の木**  
大鳥居がガレキを食い止めて津波の力を弱めた。そばには明治の津波で多くの人がぶら下って助かったという楓がある。  
九戸郡野田村大字野田(野田村役場近く)  
TEL 0194-78-2012 (観光協会)

**24 机浜番屋群**  
住民(漁民)と行政(村)の「結(ゆい)」により、漁村の原風景と漁村文化を一緒に再生する新しい番屋群。  
田野村机浜  
TEL 0194-37-1211 (事務局)

**25 宝福寺**  
田野村で津波被害に遭った方の家の土を使って焼き上げた、小久慈焼のお地蔵さまが奉納されている。  
下閉伊郡田野村 149-1  
TEL 0194-33-3057

**26 カルボナードしまのこし駅(三陸鉄道)**  
海水浴場を見降ろす駅舎だったが、津波の直撃で駅舎は消失。地上7mの高架橋も崩壊。宮沢賢治のレリーフだけが残った。  
下閉伊郡田野村松崎 1-20  
TEL 0194-33-3248 (観光協会)

**27 小本小学校奇跡の130段の階段**  
住民の強い要望で、国道45号に上がる130段、長さ約30mの避難階段が完成。児童はここを必死に駆け上り、高台の広場に逃込んだ。  
下閉伊郡岩泉町小本の沢 2

**28 震災メモリアルパーク中の浜**  
15mを超える大津波が押し寄せ甚大な被害を受けた「中の浜キャンプ場」を震災の記憶を後世に伝える公園として環境省が整備。  
宮古市崎山中の浜  
TEL 0193-65-1690 (浄土ヶ浜ビジターセンター)

**29 御蔵山**  
被災者の鎮魂、犠牲者の追悼、復興の象徴として「鎮魂の鐘」を設置。火災で消失したJR陸中山田駅の大時計も展示。  
下閉伊郡山田町八幡町  
TEL 0193-84-2580 (観光案内所)

**210 鶴住居メモリアルパーク**  
地震で避難してきたが津波に遭い200人が犠牲となった「鶴住居防災センター」がメモリアルパークとして整備される。  
釜石市鶴住居  
TEL 0193-22-2111 (市役所観光課) 2019年完成予定

**211 私設こすもす公園(希望の壁画)**  
仮設住宅建設で公園が減る中、子供たちに元気に遊んでほしいという願いを込めた公園。「希望の壁画」が描かれている。  
釜石市甲子町 5-72  
TEL 0193-27-3366

**212 津波記憶石**  
昭和三陸大津波の際に刻まれた「津波記念石」。道路工事で埋没していたが、大津波で地表に出てきた。  
岩手県大船渡市三陸町吉浜 1-3  
TEL 0192-27-3111 (市役所観光課)

**213 津波を見ていた3本の大木大ケヤキ・ポプラ・大スギ**  
町は津波に飲み込まれたが、ポプラと明治・昭和の津波にも耐えた大ケヤキは生き残った。人々が逃げた高台の神社には大スギも。  
大船渡市三陸町越喜楽

**214 奇跡の一本松(復興祈念公園内)**  
約7万本といわれる高田松原が津波で流失。奇跡的に残った一本松も枯死。復興のシンボルとして復活させた。  
陸前高田市気仙町字砂盛 176-6  
TEL 0192-54-2111 (市役所観光課)

## 3 宮城県

**31 早馬神社**  
高台に位置する境内に15mの津波が襲った。避難してきた近所の住民や参拝客と共に高台まで逃げればらく生活した。  
気仙沼市唐桑町番浦 75  
TEL 0226-32-2321

**32 紫神社**  
紫神社のある南町は気仙沼で最も古い歴史をもつ。避難所、心の拠り所となっている復興商店街「南町紫市場」がある。  
気仙沼市南町 1-2-12  
TEL 0226-22-0694

**33 みちびき地蔵**  
1770年代に祀られたという。津波被害者の伝説が残る。3.11津波で流失し、地蔵堂が全壊した。  
気仙沼市浦の浜 108-11  
TEL 0226-28-3000 (大島観光協会)

**34 尾崎大明神**  
気仙沼湾に面する海抜10mの神社。あと1mで水没するくらいまで波が押し境内の木々にロープを張り巡らして33人が助かった。  
気仙沼市松崎尾崎

**35 地福寺、岩井崎(龍の松、秀ノ山雷五郎像)**  
景勝地、岩井崎。津波に遭ったが龍の一部が奇跡的に残り、天に昇る龍の形に見えることから「龍の松」と名付けられた。  
気仙沼市波路字岩井崎  
TEL 0226-22-4560 (気仙沼観光コンベンション協会)

**36 上野山八幡宮 波来**  
昭和35年チリ地震津波の時は役場防災庁舎の北隣に鎮座。昭和46年、現在地に。3.11津波では鳥居の下まで襲来。  
南三陸町志津川字上野山 27-2  
TEL 0226-46-3453

**37 石巻ハリストス正教会**  
1880(明治13)年に建てられた。3.11津波で2階まで冠水。建物は傾き壁面が大きく破壊されたが流失は免れた。  
石巻市千石町 4-10  
TEL 0225-45-3456 (石巻観光協会)

**38 宮城県慶長使節船ミュージアム**  
慶長の大津波にも関係する慶長使節船についての記憶を継承する施設。3.11で被災したが再開館を果たした。  
石巻市渡波字大森 30-2  
TEL 0225-24-2210

**39 門脇町を見守るお地蔵さま(西光寺)**  
「津波で両親や多くの人が亡くなりました。きっとお地蔵さまはこの町の復興を見守っています」ある方の言葉です。  
石巻市門脇町 2丁目 5-7  
TEL 0225-45-3456 (石巻観光協会)

**310 日和山公園**  
石巻市内を一望でき、鹿島御児神社がある。津波の被害がひどかった門脇町や南浜町などの住民がここに避難した。  
石巻市日和山二丁目  
TEL 0225-93-6448 ロマン海遊 21 (観光協会)

**311 普誓寺**  
江戸時代、北上川河口の石巻とその流域の住民を水害から守った。石巻発展の礎を築いた川村孫兵衛の遺言により建立。  
石巻市中浦 2丁目 2-5  
TEL 0225-45-3456 (石巻観光協会)

**312 十八成浜白山神社**  
地域の守り神。十八成浜地区で支援活動する、愛知ボランティアセンター、豊田市前林中の生徒の支援で鳥居が再建された。  
石巻市十八成浜  
TEL 0225-45-3456 (石巻観光協会)

**313 貞観地震の千年石碑と観音寺**  
「津波が来たらここより高台に逃げる」といわれていた。3.11ではこの上の宮戸小学校等に避難した全員が助かった。  
東松島市宮戸二ツ橋地区  
TEL 0225-88-2239

**314 瑞巖寺・観瀾亭**  
松島は島々が防波堤となり被害が少なかった。瑞巖寺や観瀾亭は観光客の避難場所となった。  
松島町松島字町内 91  
TEL 022-354-2023

**315 同性寺**  
一次避難場所だったが、津波は想定より2m以上高く、避難住民約60人は防災リーダーの機転で高所に避難し全員無事。  
七ヶ浜町道山 1-1-29  
TEL 022-357-5950

**316 末の松山(宝国寺)**  
清原元輔の歌「契りきな かたみに袖をしぼりつつ 末の松山 波さざじとは」の石碑がある。貞観地震・津波を詠ったとも多量に伝わる。  
仙台市若林区大橋 2丁目 8-28  
TEL 022-362-5901 (多賀城観光協会)

**317 蒲生干潟**  
津波で干潟がほとんど消滅したが、その後、台風などで河口部に砂が堆積し、干潟が自然に回復してきている。  
仙台市宮城野区蒲生  
TEL 022-211-2672

**318 浪分神社**  
慶長の大津波の時、手前が津波が二つに分かれて引いていき、それ以来「浪分神社」と呼ばれるようになったという。  
仙台市若林区宮内上向海岸地蔵地付近  
TEL 022-268-6251 (仙台観光国際協会)

**319 関上漁港と日和山**  
明治の頃、海の状態をためしに山を作ったという。津波の際、中学生がそこに避難し助かった。津波を助けた。  
名取市関上  
TEL 022-382-6526 (名取市観光物産協会)

**320 仙台空港**  
海岸から1キロの空港ターミナルを津波が直撃。滑走路がほぼ水没した。米軍の「トモダチ作戦」で早期復旧。  
名取市下増田字南原  
TEL 022-382-0803

**321 千年希望の丘**  
津波被災を伝え、人々を津波から守ることを念頭に整備した15の丘からなる。震災瓦礫を混ぜた土砂を基礎に公園として整備。  
岩沼市下野郷  
TEL 0223-22-1111 (岩沼市)

**322 貞山運河**  
伊達政宗の命で開かれた岩沼～石巻の沿岸50kmを結ぶ運河。津波の威力を弱めた説あり。新たな観光資源として検討中。  
岩沼市～石巻市  
TEL 022-211-3173

**323 わたり温泉鳥の海**  
7mの津波に耐えた建物屋上から撮影された荒浜を襲う写真は河北新報社「東日本大震災全記録」の見聞きとなった。  
亶理町荒浜築港通り 41-2  
TEL 0223-35-2744

**324 戸花山**  
漂流したガレキが多く流れつき、その中で一夜を過ごした人々も。県内外の支援により慈母観音が建立された。  
亶理郡山元町坂元 20  
TEL 0223-38-0320

**325 山元町立中浜小学校と千年塔**  
地震直後、教職員は即決で児童全員を屋上の屋根裏倉庫へ上げた。津波は校舎を飲み込むが児童と教職員全員助かった。  
亶理郡山元町坂元 22-2  
TEL 0223-37-5115

**326 山元町磯崎山公園(唐船番所跡)**  
外国船監視のために設置された番所跡。震災時、周辺住民が避難した。東屋付近まで波が押し寄せ死を覚悟したという。  
亶理郡山元町字浜谷地 45  
TEL 0223-37-1111



多くの巡礼地は、環境省のみのく潮風トレイルのコース近くにあり、トレイルルートをはかれる方は、こちらをご覧ください。  
⇒ <http://www.tohoku-trail.go.jp/>

このプロジェクトは三井物産環境基金のご支援を頂いて活動しています。



# 東北お遍路巡礼マップ

釜鳴神社  
大蛇小学校の2つの津波の碑  
津波慰霊碑  
ケルン・鎮魂の鐘と光  
大鳥居と楓の木  
机浜番屋群  
宝福寺  
カルポナードしまのこし駅(三陸鉄道)  
小本小学校奇跡の130段の階段  
震災メモリアルパーク中の浜  
御蔵山  
鶴住居メモリアルパーク  
私設こすもす公園(希望の壁画)

津波記憶石  
津波を見ていた大ケヤキ・ボブラ・大スギ  
奇跡の一本松(復興祈年公園内)  
早馬神社  
紫神社  
みらびき地蔵  
尾崎大明神  
地福寺、岩井崎  
(龍の松、秀ノ山雷五郎像)  
上山八幡宮 波来  
石巻ハリストス正教会  
宮城県慶長使節船ミュージアム

門脇町を見守るお地蔵さま(西光寺)  
日和山公園  
香誓寺  
十八成浜白山神社  
貞親地震の千年石碑と観音寺  
瑞巖寺・親瀾亭  
同性寺  
木の松山(宝国寺)  
蒲生千潟  
浪合神社  
關上漁港と日和山  
仙台空港  
千年希望の丘

御山運河  
わたり温泉鳥の海  
戸花山  
山元町立中浜小学校と千年塔  
山元町磯崎山公園(唐船着跡)  
龍昌寺  
安波津野神社  
大戸観音堂  
津神社  
松川浦  
長命寺  
稲荷神社(寄木神社)  
北葦浜神社

御山運河  
山田神社  
相馬小高神社  
福島第一原子力発電所  
熊川海水浴場  
天神岬公園津波防災対策ミュージアム  
修行院  
稲荷神社  
道山林  
塩屋崎灯台と薄磯・豊間海水浴場  
アクアマリンパーク  
勿来の記憶の広場

発行：一般社団法人東北お遍路プロジェクト



## 東北お遍路

(こころのみち)



一般社団法人東北お遍路プロジェクト  
〒982-0011 宮城県仙台市太白区長町三丁目9-10 TEL: 022-264-7890 E-mail: info@tohoku-ohenro.jp  
東北お遍路プロジェクトの詳細情報は公式ウェブサイトをご覧ください。「東北お遍路」でも検索できます。  
PC版 → <http://tohoku-ohenro.jp/> スマートフォン対応版 → <http://tohoku-ohenro.jp/s>

わたしたちはこんなことをやっています。

東北お遍路(こころのみち)プロジェクトは、東日本大震災により被害を受けた福島県から青森県までの沿岸地域に慰霊・鎮魂のための巡礼地を選定し、千年先まで語り継ぎたい物語を見出して「こころのみちの物語」として発信し続けます。そして民族や宗教を越えた多くの方々巡礼地をたどって頂くことにより、東北の各被災地が連携して、千年後まで経済的文化的に自立発展できる復興の一助となるよう、活動を続けてまいります。

・東日本大震災による犠牲者の慰霊と巡礼(こころ)のみちづくり  
1000年に一度ともいわれる「東日本大震災」で犠牲になられた方々への慰霊と震災の経験を1000年先まで語り継ぐ場所として、巡礼地を福島県から青森県までの太平洋沿岸に設け、東北を訪れる人々の「こころのみち」として皆さんとともに育てていきます。

・津波の記憶を風化させることなく将来世代へ伝承  
大震災の体験は、歳月とともに風化しています。地域や風景が再生されたあとも、人々の震災経験の記憶を語り継ぎ、次代に受け継いでいくための仕組みづくりをおこなっていきます。

・農漁業、観光業など地場産業の再生と創出  
地震、津波、そして原発による風評被害により、農業・漁業・観光業は大きな打撃を受けました。被災地東北のなりわいが活性化できるよう、地場産業を支援していきます。

・被災地域のネットワーク化  
被災地域のエリアにとらわれない、広域的なネットワークづくりをおこなっていきます。具体的には、「東北お遍路マップ」の制作や標柱建立、地域間の交流を促進するイベントなどをおこないます。

東北お遍路のロゴマークは公募により平沼宏夫氏(東京都)に決定しました。繊細な線で女性の顔を描いた作品で、線の延長は仙台湾に連なる東北の海岸線を表現しています。やさしく包み込むような表情は、少女のようであり、修道女、あるいは弥勒菩薩のようでもあり、東北お遍路プロジェクトのコンセプト「祈り」に大変マッチした作品になっています。

東北お遍路プロジェクトでは、情報発信の一環としてメールマガジンを発行しています。配信を希望される方は、[info@tohoku-ohenro.jp](mailto:info@tohoku-ohenro.jp) にご連絡ください。

お問い合わせ | 仙台市太白区長町三丁目9-10 (エフエムたいはく内)  
TEL: 022-264-7890 E-mail: [info@tohoku-ohenro.jp](mailto:info@tohoku-ohenro.jp) 公式ウェブサイト: <http://tohoku-ohenro.jp/>  
▶郵便振込 02200-3-113028 一般社団法人東北お遍路プロジェクト

**40 勿来の記憶の広場**  
被災3地区の家族ら70名のメッセージ入りリネームカムフラージュが埋められる。20年後に子孫に手渡され津波の記憶を繋ぐ。  
いわき市岩間地区の防災緑地  
TEL 0246-35-6075 (いわき建設事務所)

**41 アクアマリンパーク**  
水族館アクアマリンふくしまは「陸地全体が浸水、海洋生物20万匹が死滅、全国の水族館が壊れた生き物を守り埋葬させた。」  
いわき市小名浜字辰巳町  
TEL 0246-73-2525

**東北お遍路巡礼心得**

**その1：巡礼地の状況について**  
まだ東北の津波被災地は、復興の真っ只中にあります。巡礼地の中には工事車両が行き交う工事現場の中にあるところもあります。足もとが悪いだけでなく、目印がない、尋ねる人がいない、トイレがないなど、ご不自由をおかけするところもあるかと思えます。カーナビやGPSを使うなどし、夜間は真っ暗になるので、早めに1日の行程を終えましょう。くれぐれも安全を確認しながら巡礼くださるようお願いいたします。

**その2：服装について**  
東北お遍路は特別な宗教に属するものではありませんので、自由な服装で巡ってください。海岸沿いは天候が変わりやすいので、雨具、防寒対策をお願いいたします。

**その3：写真撮影について**  
写真は特に禁止されているところであれば、自由に撮ってください結構です。ただ、まだ被災者や遺族の気持ちが悪えておりませんので、慰霊碑の前での“ピース”はご遠慮ください。

**その4：立入禁止区域について**  
福島第1原発周辺の立入禁止区域は、現場の指示に従い、立ち入りならぬようお願いいたします。なお2015年9月現在、福島県双葉郡内の国道6号線は四輪以外の通行が禁止されており、日本道路交通情報センターなどのデータを確認して訪問ください。

**その5：津波への警戒について**  
巡礼地の多くは海岸沿いにあります。大きな地震があったら、速やかに高台に避難ください。

**42 熊川海水浴場**  
福島県から3km、大熊町民が選んだ熊川河口の海水浴場に再び立つ日が来るのを待とうか。  
双葉郡大熊町大字熊川字磯原川  
TEL 0242-29-5770 (商工会事務所)

**43 天神峰公園(津波防災対策ビューポイント)**  
津波被害が甚大な前原・山田浜地区を一望。惨状や教訓を後世に伝えるため、慰霊碑や展示パネル、展望デッキ等がある。  
双葉郡楢葉町大字北田字上山127-29  
TEL 0240-25-3113 (財)楢葉町産業公社

**44 修行院**  
津波で被災したが、30キロ圏内ゆえにボランティアが入らず、復旧は困難を極めた。ようやく住民も戻りつつある。  
広野町下浅川村松田137  
TEL 0240-27-3206

**45 稲荷神社**  
明治の大火にも耐えた社は、今回の震災でも周囲が津波と火災で壊滅したが、奇跡的に残る。復興のシンボルとして建つ。  
いわき市久之浜町東町  
TEL 024-522-2702 (観光協会)

**46 道山林**  
新興子海岸にある、江戸時代に作られた防災緑地。津波の被害が軽減され、海水程度に。江戸時代の知恵が住民を救った。  
いわき市平下郷久新郷子  
TEL 0246-23-0122 (総合観光案内所)

**47 塩屋崎灯台と薄磯・豊間海水浴場**  
美空ひばりの歌で有名な灯台。震災で壊れたが市長の懸命な努力で再建。灯台周囲の海水浴場周辺は連続的打撃を受けた。  
いわき市平下郷塩屋崎33  
TEL 0246-39-3924 (灯台)

**48 稲荷神社(寄木神社)**  
町が壊滅した磯部地区にあり「津波が来たらお明神様に逃げろ!」の言い伝えあり。津波は参道をかすまぬ無事だった。  
相馬市磯部字大浜  
TEL 0244-35-5300 (観光協会)

**49 山田神社**  
明治～昭和の干拓事業の鎮守として祀られたが、干拓は水没、社殿も消失した。熊本県立磯崎工業高校から仮社殿寄贈。  
相馬市鹿島区北町老字瀬ノ上  
TEL 0244-26-3700 (観光協会)

**50 御刀(みと)神社**  
神社を守る北右田集落60戸が津波で壊滅的被害を受けた。社も流出、狛犬が隣家の庭敷に倒壊していった。  
相馬市鹿島区北右田字集落112  
TEL 0244-26-3700 (観光協会)

**51 北葦浜神社**  
北葦浜地区95世帯中64世帯が全壊。神社はほぼ原型を留めた。後世につなげた「再建の募金活動」も始まった。  
相馬市原町区北葦浜  
TEL 0244-22-2111

**52 相馬小高神社**  
伝説行事相馬野馬追のために朝わけていた多くの馬が亡くなった。翌年、警備区域内にが神輿「野馬追」を再興、復興を誓った。  
相馬市小高町下173  
TEL 0244-44-2323

**53 福島第一原子力発電所**  
津波で電源を喪失。3度の爆発を繰り返して発生した事故を「福島の問題」として語り去られることのないよう願う。  
双葉郡大熊町大字茨木字北郷22  
警戒区域

**4 福島県**

**41 龍昌寺**  
被災した磯部の墓石を全て探し出し、同時に遺骨も収集して納骨、その上に観音像を建立してモニュメントにした。  
相馬市新地町谷地小原字間崎27  
TEL 0244-62-4191

**42 安波津野神社**  
豊漁と海上安全を祈る神社。被災し、今は仮の神社で、近いうちに再建される予定。5年に一度の例大祭が行われる神社。  
相馬新地町谷地小原字節  
TEL 0244-62-2111 (観光協会)

**43 大戸観音堂**  
高台にあり、これまで津波が到達した。100人近い人がここまで逃れ、さらに観音堂の奥まで逃げた多くの方が無事だった。  
相馬新地町大戸  
TEL 0244-62-2111 (観光協会)

**44 津神社**  
貞親津波や大津波の際、津波が直前まで迫ったが被害を免れた伝承あり。今回もここに避難した多くの方が無事だった。  
相馬市原字字大津239  
TEL 0244-35-3300 (観光協会)

**45 松川浦**  
松川浦と太平洋を仕切る砂州が大津波のエネルギーを抑える防波堤となり、松川浦周辺の津波が流出するのを守った。  
相馬市尾花松川浦公園  
TEL 0244-35-3300 (観光協会)

**46 長命寺**  
集落の背後に断崖が連なり住民はこの高台で津波が水没していきの様子を見ていた。断崖上の長命寺で人々は不安な夜を過ごした。  
相馬市岩子字大庄287  
TEL 0244-36-3862